

1. 活動の名称

家棟川で生態回廊の再生ービワマスが遡上する川に！

2. 活動の概要

目的・目標	「森・川・里・湖のつながり再生」プロジェクトの実践。野洲市の山から琵琶湖まで、家棟川8ヶ所で生態調査を市民参加で実施する。ビワマスの遡上や屋形舟の運行で、市民の川への関心を取り戻し、生態回廊の再生をはかる。
活動エリア	「野洲市の山から家棟川流域、琵琶湖まで」
活動の参加者	家棟川で生態回廊の再生をめざす ネットワーク TOTO株式会社滋賀工場 野洲市環境基本計画推進会議 滋賀県琵琶湖環境科学センター NPO法人家棟川流域観光船
活動時期	4月～10月の間、月4回程度活動

3. 取組内容

- ・水源の山の生態系を守るため、植樹や枝打ち、草刈、林道の整備などを行い、市民を山に案内し、山の素晴らしさを知り、保全活動に参加してもらう。
- ・無農薬でのコメ作りなど、生態系に優しい農法の実践・普及。観光客に地域の特産品を食べたり買ったりしてもらう。
- ・川をビワマスをはじめとする在来魚やホタルなど生物が生息しやすい環境にする活動。市民・子供参加で生態調査や水質調査、ゴミ拾い。川に親しみ、川の現状を知るため、屋形舟で川を運行し、自然環境や生態系などを学習する。
- ・琵琶湖岸にヨシ苗を植え、あやめ浜でしじみを再生させ、子供たちにシジミ掘みをさせてしじみ汁をふるまい、琵琶湖好きにする。



4. 今後の課題・将来像等

現在の課題は、10年間に渡る活動で、会員の高齢化が進んでいることである。そんな中、TOTO株式会社の若い社員が多数参加して頂けることは大変な励みになっている。こうした教訓から、市内の多くの企業との協働が大切になってくる。また自治会のなかにも、童子・家棟川流域河川愛護会や妓王まちづくり推進協議会など川への取り組みをする活動がでてきている、これらの団体との協働を強める事。そしてさらにその他の自治会へ働きかける。また家棟川で生態回廊の再生を目指す活動の拠点をつくり、そこに新しい参加者を案内して、共に活動する人を増やしてゆく必要がある。さらに将来は家棟川の上流域のネットワーク、中流域のネットワーク、河口部(内湖)のネットワーク、琵琶湖のネットワークづくりにとりくみ、お互いに連携して活動できるようにしていきたい。下の写真のように大量のゴミが琵琶湖へ流れ込み続けることのないような家棟川を実現したい。右の写真は昨秋、産卵のため遡上したビワマスを撮らえたものだが、ビワマスが安心して産卵でき稚魚が成育できる河川環境の一日も早い実現を目指す。



5. 連絡先等

NPO法人家棟川流域観光船 事務所 野洲市堤421
TEL.FAX 077-589-2267
URL <http://www.yanamunegawa.org/>